

第11回

(通算3557回) 例会
令和5年9月21日
例会場: ホテルアークリッシュ豊橋

クラブフォーラム「社会奉仕」 SDGs・17のゴールを目指して

R情報・社会奉仕委員会 担当



2023-24 RI テーマ・世界に希望を生み出そう

9月 ロータリーの友月間



福井 敬 会長

近藤 眞

柳原 茂

高須 博久 会員

R情報・研修委員長 社会奉仕委員長

会長挨拶

福井 敬 会長

先週の土日に松本南RCとの交流ゴルフに参加しました。ゴルフ場は標高800mにあるので涼しい避暑地ゴルフを期待しましたが、松本も連日35度を超える猛暑日を記録しており、汗をたくさんかいたゴルフになりました。その時に一緒にさせていただいたのが、再来年ガバナーになられる小林磨史会員でした。小林さんは「松本山賊焼応援団」の顧問をされているとのこと、松本の郷土料理である「山賊焼き」をすすめていただきました。山賊焼は端的に言うと「鶏もも肉の唐揚げの大きいもの」でした。山賊焼きという名前は「とりあげる」ことから山賊をイメージして名付けられたそうです。また、松本を象徴する言葉には「三がく都」というものがあります。「3つのガク」というのは、3,000m級の雄大な山々を擁する日本屈指の山岳リゾート地から「山岳の“岳”都」。「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に代表される「音楽の“楽”都」。そして、文明開化時代の小学校建築を代表する旧開智学校など、昔から教育を重んじる文化が根付いていることから「学問の“学”都」。この「3つのガク」にちなんで「三がく都」と呼んでいるそうです。松本南RCとの交流ではこのような知識も身に付きます。観光もあるので、今まで参加されていなくても来年は奮って参加していただき、松本南RCとの交流を盛り上げていただきたいと思います。

フォーラム主催者挨拶

近藤 眞 R情報・研修委員長

ポールハリスはロータリークラブを創立し、職業倫理を高め信頼できる公平な取引をすることで自己の事業の質を高めました。そして、その力を地域社会に生かせないかということで、ロータリーの活動が組織の中から外へ向くようになりました。これが社会奉仕の始まりです。本日のフォーラムでは、組織の内部から外へ出た奉仕活動に注目して積極的に聞いていただきたいと思います。

フォーラムリーダー趣旨説明

柳原 茂 社会奉仕委員長

本年度の地区の奉仕活動に関する方針の一つに「SDGsを意識して身近なことから活動しよう」とあります。SDGsは2030年までに達成すべき目標として2015年に国連総会で採択されました。折り返しの時期にある今、目標達成に向けて行動を起こすことが大切です。本日はSDGsの17のゴールを達成するための行動について会員の皆さまからスピーチをしていただきたいと思います。本日のフォーラムがロータリアンとして社会奉仕活動を行うためのヒントや問題提起になれば幸いです。

発言

近藤 眞 会員



2021年MUFGは更に質の高い金融グループを目指すべく、中期経営計画の3年間で企業変革、成長戦略、構造改革に取り組んでいます。企業変革では「環境・社会課題解決への貢献」の変革に取り組んでおり、環境・社会課題の解決と経営戦略を一体と捉え、価値創造に取り組むことがMUFGのサステナビリティ経営です。我々はSDGsの17の項目の中から優先して解決すべき課題を10に特定しています。その中には気候変動対応やインクルージョン、ダイバーシティ等があり、この優先課題を解決するための戦略や施策を展開しています。

豊橋支店の取組みとして、MUFGが掲げたサステナビリティ経営をこの地域に見合った形で具体化していくことが使命だと考えています。我々の取組みの一つに地域産業への活性化支援があります。東三河では新しい産業を興すことが重要なテーマのため「東三河イノベーターズゲート」に行員を派遣し、新たなビジネスモデルの策定にチャレンジしています。また、ユニークな取り組みとして「MUFUSOUL」という役職員が企画した社会課題の解決に、会社が1プロジェクトあたり最大50万円の支援金を拠出する制度がありま

す。豊橋支店ではこの枠組みを利用し、2年間で4回のMUFGSOULを企画、実施しています。活動の中では穂の国森づくりの会の除伐作業や、朝倉川育水フォーラムの整備作業に参加させていただきました。この豊橋で課題や支援を必要とする取り組みはまだあります。これからも金融機能や社会貢献活動を通じて社会課題を解決し、持続可能な環境・社会の実現に微力ながら貢献していきたいと思ひます。

発言

山本 勤司 会員



様々な業界で注目されているSDGsですが、アパレル業界にも「サステナブルファッション」という言葉があります。サステナブルファッションには定義があり「衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来に渡り持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのこと」となっています。アパレル業界では、昔から衣服の大量生産によるCO₂排出や低賃金での労働など、環境問題や労働環境をはじめとする様々な課題があります。これらはSDGsにも大きく影響しているため、アパレル業界とSDGsは切っても切り離せない関係なのです。

アパレル業界と関連性の高いSDGsのゴールは、7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、10「人や国の不平等をなくそう」、12「つくる責任つかう責任」、13「気候変動に具体的な対策を」、16「平和と公正をすべての人に」の5つです。アパレル業界やファッションブランドがSDGsを推進する具体的な方法としては、環境に優しい素材を利用することや、長期間にわたって着られる服を作ること、受注生産のシステムを取り入れること、リサイクルBOXを設置することが大切です。

弊社は既製の無い時代から商売をさせていただいており、昔オーダーした服を別の物へ作り直すことを何十年も前から行っています。今回勉強したことで、小さい店でありながらも僅かではありますがSDGsに貢献しているということに気づくことが出来ました。

発言

小笠原 敏彦 会員



公共交通はCO₂の排出量が少なく、その利用は気候変動への対策となります。また、マイカーを持たない「移動弱者」にとって無くてはならないものだと思います。マイカー依存からシフトすれば渋滞解消に繋がり、公共交通を利用することで歩行が増えて健康を増進させます。この様な公共交通の良い面がSDGsへ繋がっており、正に公共交通の利用促進がSDGsに貢献すると自負しています。

具体的な取り組みの例としては、グループホームへ

「バスの来ないバス停」の寄贈をしています。これは入居者の方の徘徊を防ぐ効果や、廃棄される標識の有効活用に繋がります。また、公共交通の活性化には、産業や福祉、教育等の様々な利害関係者との連携が不可欠となります。そこで我々は地域とのパートナーシップを重視して愛知大学や豊橋技術科学大学と連携協定を締結して、共に協同で研究や調査、企画を進めています。その他には、ウォーキングイベントの開催や、運転体験ツアー、緑化事業等も行っています。今後は、決済や予約等様々なことが出来るシステムを作り、誰もが使いやすい公共交通になるように取り組んでいきます。更に、様々なところと連携してより良い地域づくりを進め、最終的には市内線を更に便利にしていこうと目標としています。

電車を運行することで地域の移動を守り続け、事業者として市電をしっかりと存続させていくことがこの地域への恩返しだと思っています。安全で小さな移動手段の提供が地域の皆さまの笑顔に繋がることを願っています。

発言

瀧崎 裕司 会員



私からは祭りから見た、SDGsの「住み続けられるまちづくりを」についてお話をさせていただきます。

豊橋には三大祭りと言われる「鬼祭り」、「祇園祭」、「羽田祭り」の他に「花祭り」等多くの祭りがあります。しかしコロナ禍の3年間は「祭り」は神事のみ、飲食や人が集まることはいけないとされ、祭りというものが基本的に無くなりました。しかし今年の秋は以前のように戻り、祭りが開催できるようになりました。この3年間で開催できなかったことにより、各町内が本来の祭りはどんなものだったか考え、物価の高騰等がある中で、本当に必要なものを残しながらそれぞれ計画を練っているそうです。これが「持続可能な祭り」に繋がり「住み続けられるまち」になっていくと考えます。これはコロナから得たものだと思います。

祭りでは福寿会や婦人会、青年、子ども達など、日頃あまり顔を合わせない人達が集まるため、地域の繋がりが生まれます。この様な繋がりがあると、深くは知らない人同士でも「あの人最近見ないね」、「最近変な人がいるから気をつけて」等の会話が生まれ、まちとして防犯や防災に繋がる環境が出来上がっていきます。これがSDGsの「住み続けられるまちづくりを」になっていくのではないかと感じています。

「住み続けられるまち」というのは、そこに住み集う人達の繋がりが最も大切です。祭りはその一助となり、ほんの少しでも私どもの生業が世のためになっていると再確認することが出来ました。今回の機会を与えていただいたおかげで、微力ながらSDGsに貢献していると自信を持ってたことに感謝いたします。

4名の発言者の皆さまありがとうございました。まず始めに、近藤会員は大企業として責任を持って取り組まれていると感じました。山本会員は真面目に勉強されており、自分の職業観を持たれていると感じました。小笠原会員の公共交通には私も関わらせていただきましたが、安全で負荷が少ない乗り物は大切にしていきたいと思っております。豊橋RCの社会奉仕委員会から始まった「とよはし市電を愛する会」の活動をこの機会に皆さまにご理解いただき、市電に沢山乗っていただきたいです。また、交通弱者の移動手段はこれからも維持していただきたいです。最後に瀧崎さんのお話にあったように、お祭りは何歳になっても楽しんで、本当に良いものだと思います。

皆さま共通しているところですが、社会奉仕活動と言いながらも、それぞれの職業倫理を十分に理解され、ロータリアンとして行動されているということが本日のお話でよく分かりました。本当にありがとうございました。

フォーラムお礼の挨拶

柳原 茂 社会奉仕委員長

フォーラムが始まる前は17のゴールのいずれかに話が偏ってしまうのではないかと心配していましたが、皆さまにほぼ全てのゴールについて触れていただき、フォーラムのタイトルに沿うことが出来たのではないかと安堵しています。また、皆さまのお話から、私たちが行っている日々の行動や活動をSDGsに当てはめて整理すると、実は社会奉仕に繋がっていることが発見できるという気付きを得ることが出来ました。

昨今ロータリーではクラブとして社会奉仕活動を行う流れがあります。これをSDGsに当てはめて考えるとターゲット17の「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当すると思っております。本年度も他団体とパートナーシップを組み、表浜海岸清掃や朝倉川の植樹メンテナンス、ごみゼロ運動を社会奉仕活動として行っています。これらの活動にお力添えいただきますことをお願いしまして、私からのお礼の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

まとめの言葉

近藤 真 R情報・研修委員長

会員の皆さまの社会奉仕に対する理解が更に深まることで、地域社会から期待された奉仕活動に積極的に参加して、ロータリアンとしての喜びを感じていただきたいと思っております。

歌

ソングリーダー 山本 光伸 会員



「椰子の実（2番まで）」

ニコニコBOX

佐藤 裕彦 ニコニコ委員

- 今年度初めての夜のフォーラムです。近藤R情報・研修委員長、よろしくお祈りします
福井 敬 会長
- 本日のクラブフォーラムを主催させていただきます
近藤 真 R情報・研修委員長
- 本日のクラブフォーラムを担当させていただきます
柳原 茂 社会奉仕委員長
- 本日のクラブフォーラムで、アドバイザーを務めます
高須 博久 会員
- 先週の危機管理セミナーでパネリストをつとめさせていただきました
大塩 啓太郎 地区I A委員長
- 9月17日晴天のもと、松本浅間カントリークラブにて、松本南RC・豊橋RC交流ゴルフコンペが行われました。交流ゴルフでは、長坂正樹会員が優勝、佐々木利政会員が準優勝でした。豊橋RCゴルフ会の成績は、グランドシニア、シニア優勝が岩瀬清会員、準優勝が佐々木利政会員。一般の部優勝が山本勘司会員、準優勝が笠原元樹会員でした
豊橋RCゴルフ会
- 松本南RCとの交流ゴルフコンペに総勢21名の参加をいただき、ありがとうございました。私の勝手な企画運営、進行にお付き合いただき、感謝いたします。お陰様で、ベスグロと準優勝で葡萄をいただきました。皆さんお疲れ様でした
佐々木 利政 会員
- 9月10日に伊藤健一会員と富士山の肩、宝永山へ行ってきました。来年は久しぶりに山頂まで登ろうと思っています。ご一緒いただける方がいらっしゃれば、お声がけください
松坂 良太 会員
- 秋の全国交通安全運動が始まりました。「まずはみんなで安全確認 みんなで守ろう交通ルール」よろしくお祈りします。交通安全協会より
青木 良浩 会員
- 初めてニコニコの発表をさせていただきました
佐藤 裕彦 会員 (順不同)

本日のビジター

豊橋北RC	1名	豊橋南RC	4名
豊橋ゴールデンRC	3名	その他RC	2名
計 10名			

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「米山功労者感謝状」が届きました。
河村 修 会員、中田 昌宏 会員、
長屋 麻衣子 会員、村雲 晃 会員
2. ロータリー・フードフェスティバル（RFF）開催日が変更となりました。
2024年4月20日・21日⇒5月11日・12日に変更

出席報告

杉田 洋 出席委員長

当日出席者	86名	計算会員数	87名中30名欠席
総会員数	112名	出席率	65.52%

例会予定

- 9月28日(木) ガバナー補佐訪問
- 10月5日(木) 卓話「学校における金融教育」と「社会人の学ぶ必要性について」